

平成26年度

学生便覧



広島大学医学部

総 目 次

広島大学学期区分、授業時間割

医学部 学部教育の理念と目標

I 教育課程

1 教育科目履修基準について	
・教養教育科目履修基準表	課程 1
・専門教育科目履修基準表	課程 5
・養護教諭一種免許取得に必要な履修科目(保健学科看護学専攻)	課程10
・医学科進級判定基準	課程11
・領域科目・基盤科目の特別試験について	課程12
・医学部生の東千田キャンパス開設授業科目の受講について	課程13
・広島大学既修得単位等の認定に関する細則の広島大学医学部における取り扱いについて	課程14
・外国语技能検定試験等による単位認定の取り扱いについて	課程14
・外国の大学等で履修した授業科目の単位の認定に関する申合せ	課程15
2 到達目標型教育プログラム「HiPROSPECTS(R)」について	ハイプロ 1
3 教養教育について	教養 1

II 教務・学生生活関係

1 諸手続について	手続等 1
※「事件・事故発生時の対応マニュアル	手続等 3
2 「賞罰」及び「除籍」について	手続等 5
3 学生生活注意事項	手続等 6
4 国家試験について	手続等 8
5 保健管理センターについて	手続等 9

III 諸規則

1 広島大学通則	規則 2
2 広島大学医学部細則	規則19
3 広島大学学生交流規則	規則23
4 広島大学学位規則	規則27
5 広島大学授業料等免除及び猶予規則	規則34
6 広島大学既修得単位等の認定に関する細則	規則38
7 広島大学転学部の取扱いに関する細則	規則40
8 広島大学科目等履修生規則	規則42
9 広島大学学生表彰規則	規則46
※広島大学医学部学生表彰内規に関する申合せ	規則48

10	学生表彰基準	規則50
11	広島大学学生懲戒指針	規則52
	※広島大学学生懲戒指針の運用について（申合せ）	規則57
12	広島大学学生生活に関する規則	規則59
13	広島大学学生証取扱細則	規則61
14	広島大学ピア・サポート・ルーム規則	規則63
15	広島大学障害学生の就学等の支援に関する規則	規則65
16	身体等に障害のある学生に対する試験等における特別措置について（申合せ）	規則67
17	社会貢献活動に従事したことに関する証明書発行要項	規則71
18	期末試験等における不正行為の取扱いについて	規則72
19	広島大学研究生規則	規則73
	※広島大学研究生規則医学部取扱内規	規則76
20	広島大学外国人研究生規則	規則77
21	広島大学東広島キャンパスの構内交通に関する細則	規則80
22	広島大学東千田キャンパスの構内交通に関する細則	規則90
23	広島大学におけるハラスメントの防止等に関する規則	規則94
24	広島大学学部生の大学院授業科目の履修に関する細則	規則97
25	学業に関する評価の取扱いについて	規則102
26	気象警報の発令、公共交通機関の運休又は事件・事故等の場合における授業等の取扱いについて	規則104
27	広島大学霞地区体育館使用細則	規則105
28	広島大学医学部自治会会則	規則108
	広島大学医学部自治会細則	規則110
	広島大学医学部自治会運動部および文化部細則	規則111

IV 職員・配置図

1	組織及び職員	その他1
2	霞地区建物配置図（掲示板）	その他4

広島大学学定期区分

期	区分	期間
前期	春季休業	4月 1日 ~ 4月 8日
	授業期間	4月 9日 ~ 7月 31日
	夏季休業	8月 1日 ~ 9月 30日
後期	授業期間	10月 1日 ~ 12月 23日
	創立記念日	11月 5日
	冬季休業	12月 24日 ~ 1月 7日
学年終業	授業期間	1月 8日 ~ 2月 11日
	学年末休業	2月 12日 ~ 3月 31日

(注)学期区分は、広島大学通則に基づく期間であり、授業スケジュールとは異なる場合があります。

授業時間割

尙間授業時間

時限	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
時刻	8:45		10:30		12:50		14:35		16:20	
		10:15		12:00		14:20		16:05		17:50

夜間授業時間			
時限	1	2	3
時刻	18:00	19:40	
	19:30	21:10	

医学部 学部教育の理念と目標

医学部の学部教育においては、医学・医療、保健、福祉の実践者にふさわしい豊かな人間性と幅広い教養を身につけ、専門職となるための基礎的知識、技能、態度を修得し、さらには科学的思考力と創造性に富む人材を育成することを共通の理念とする。

この理念に基づいた各学科の目標は次のとおりである。

1. 医学科の目標

- (1) 医師としての基本的診察能力を身につける。
- (2) 医学・医療における事象を適切に分析・評価し問題点を解決する能力を身につける。
- (3) 全人的医療の実践のために医師としてとるべき態度を身につける。
- (4) 医学・医療の基礎的及び応用的な研究の発展に寄与できる柔軟な発想と創造性を養う。
- (5) 医療に関わる行政制度や社会保障・医療経済の仕組み及び医療に関わる法制度を知り、適切に対処できる。
- (6) 医学・医療の国際化・情報化に対応して、外国語の運用能力と情報処理能力を身につける。
- (7) 医学以外の幅広い多様な学問に触れ多様な文化や価値観を学ぶ。
- (8) 学術的・総合的な学問を学び、多面的・全体的に事象を把握する能力を身につける。
- (9) 生涯にわたって学習する習慣を養う。

2. 保健学科の目標

- (1) 多様な健康関連職種の一員として他の職種と相互協力のもとに人類の健康と福祉に寄与する看護師・保健師・助産師・養護教諭、理学療法士、あるいは作業療法士として必要な幅広く、調和のとれた教養と態度を身につける。
- (2) 社会の国際化や情報化に適応できる国語や外国語の運用能力、情報処理関連能力を身につける。
- (3) 看護学、理学療法学、作業療法学の基礎となる自然科学、人文科学、社会科学に関する基本原理を理解する。さらに、関連・隣接領域に対する関心を培い、学際性の重要性を認識する。
- (4) 看護、理学療法、あるいは作業療法における事象を適切に評価し、問題の構造を見極め、それぞれの職種の独自性が發揮された適切な対応方法を決め、それを実施する基本的な能力を身につける。
- (5) 健康関連職種として関わる社会の仕組みや社会制度を知り、これらに適切に対処できる基本的な能力を身につける。
- (6) 各専門職の歴史と現状と使命を理解し、将来的展望を考えることを学ぶ。

| 教育課程

1 教育科目履修基準について	
・教養教育科目履修基準表	課程 1
・専門教育科目履修基準表	課程 5
・養護教諭一種免許取得に必要な履修科目(保健学科看護学専攻)	課程 10
・医学科進級判定基準	課程 11
・領域科目・基盤科目の特別試験について	課程 12
・医学部生の東千田キャンパス開設授業科目の受講について	課程 13
・広島大学既修得単位等の認定に関する細則の広島大学医学部における取り扱いについて	課程 14
・外国語技能検定試験等による単位認定の取り扱いについて	課程 14
・外国の大学等で履修した授業科目の単位の認定に関する申合せ	課程 15
2 到達目標型教育プログラム「HiPROSPECTS(R)」について	ハイプロ 1
3 教養教育について	教養 1

1 教育科目履修基準について



教養教育科目履修基準表

別表第1

医学部医学科

区分	科目区分	要修得単位数	授業科目等	単位数	履修区分	履修年次(注1)					
						1年次		2年次		3年次	
						前	後	前	後	前	後
教養コア科目	教養ゼミ	2	教養ゼミ	2	必修	○					
	平和科目	2		2	選択必修	○	○				
	パッケージ別科目	6	選択したパッケージから	2	選択必修	○	○				
教養教育科目	英語(注2) 外国語科目 共通科目	コミュニケーション基礎Ⅰ	コミュニケーション基礎Ⅰ	1	必修	○					
			コミュニケーション基礎Ⅱ	1			○				
		コミュニケーションⅠA	コミュニケーションⅠA	1	必修	○					
			コミュニケーションⅠB	1		○					
		コミュニケーションⅡA	コミュニケーションⅡA	1	必修		○				
			コミュニケーションⅡB	1			○				
		コミュニケーションⅢA	コミュニケーションⅢA	1	選択必修			○	○		
			コミュニケーションⅢB	1				○	○		
			コミュニケーションⅢC	1				○	○		
	上記3科目から2科目										
	初修外国語 (ドイツ語、フランス語のうちから1言語選択)	ベーシック外国語Ⅰから2科目	1	選択必修	○						
		ベーシック外国語Ⅱから2科目	1			○					
	情報科目(注3)	2	情報活用基礎	2	選択必修	○					
			情報活用演習	2			○				
	領域科目	4	すべての領域から	1又は2	選択必修	○	○				
	健康スポーツ科目	2		1又は2	選択必修	○	○				
科目	基礎科目(注4)	8	細胞科学	2	必修	○					
			生物学実験法・同実験	2		○					
			医療従事者のための心理学	2		○					
			医療行動学	2			○				
		2	初修物理学	2	選択必修(注5)	○					
			初修化学	2		○					
			初修生物学	2		○					
		4	統計学A	2	選択必修	○					
			基礎微分積分学	2		○					
			基礎線形代数学	2			○				
			生態学	2			○				
		上記4科目のうちから2科目									
	教養教育科目計	44									

注1: ○印は標準履修セメスターを表している。なお、当該セメスターで単位を修得できなかった場合はこれ以降に履修することも可能である。授業科目により実際に開講するセメスターが異なる場合があるので、毎年度発行する教養教育科目授業時間割等で確認すること。

注2: 短期語学留学等による「英語圏フィールドリサーチ」又は自学自習による「マルチメディア英語演習」の履修により修得した単位を、卒業に必要な英語の単位(8単位)に代えることが可能である。また、外語語能技能検定試験、語学研修による単位認定制度もある。詳細は、学生便覧に掲載の教養教育の英語に関する項を参照のこと。

注3: 1年次前期開設の「情報活用基礎」を履修すること。なお、「情報活用基礎」の単位を修得出来なかった場合のみ、後期開設の「情報活用演習」を履修することができる。

注4: 履修基準表で指定されていない基礎科目の単位を修得した場合、又は履修基準表で指定された基礎科目の選択必修科目のうち6単位を超えて修得した場合は、2単位まで領域科目を履修したものとみなす。

注5: 「初修物理学」、「初修化学」及び「初修生物学」から、履修すべき初修科目を医学科において指定する。指定された科目以外の初修科目を修得しても卒業に必要な単位にはならない。

別表第1

教養教育科目履修基準表

医学部保健学科看護学専攻

区分	科目区分	要修得単位数	授業科目等	単位数	履修区分	履修年次(注1)							
						1年次		2年次		3年次		4年次	
						前	後	前	後	前	後	前	後
教養コア科目	教養ゼミ	2	教養ゼミ	2	必修	○							
	平和科目	2		2	選択必修	○	○						
	パッケージ別科目	6	選択したパッケージから	各2	選択必修	○	○						
	英語(注2)	コミュニケーション基礎	コミュニケーション基礎Ⅰ	1	必修	○							
			コミュニケーション基礎Ⅱ	1			○						
		コミュニケーションI	コミュニケーションIA	1	必修	○							
			コミュニケーションIB	1		○							
		コミュニケーションII	コミュニケーションIIA	1	必修		○						
			コミュニケーションIIB	1			○						
		コミュニケーションIII	コミュニケーションIIIA	1	選択必修			○	○				
			コミュニケーションIIIB	1				○	○				
			コミュニケーションIIIC	1				○	○				
教養教育科目	上記3科目のうちから2科目												
	初修外国語 (ドイツ語、フランス語、スペイン語、ロシア語、中国語、韓国語、アラビア語のうちから1言語選択)	(0)	ベーシック外国語Iから2科目	1	自由選択	○							
			ベーシック外国語IIから2科目	1			○						
	情報科目(注3)	2	情報活用基礎	2	選択必修	○							
			情報活用演習	2			○						
	領域科目	2	脳と行動の科学	2	必修	○							
			心理学A	2	選択必修	○							
		2	心理学B	2			○						
		(0)	すべての領域から	1又は2	自由選択	○	○						
	健康スポーツ科目	(0)		1又は2	自由選択	○	○						
計	基礎科目	2	統計学B	2	選択必修			○					
			数学基礎概論	2				○					
		2	細胞科学	2	必修	○							
		0	初修物理学	2	(注4)	○							
		0	初修生物学	2	(注4)	○							
	必修・選択必修科目小計	28											
	自由選択科目小計	12	(注5)										
	教養教育科目合計	40											

注1：○印は標準履修セメスターを表している。なお、当該セメスターで単位を修得できなかった場合はこれ以後に履修することも可能である。授業科目により開設期が異なる場合があるので、学生便覧の教養教育開設授業科目一覧で確認すること。

注2：短期語学留学等による「英語圏フィールドリサーチ」又は自学自習による「マルチメディア英語演習」の履修により修得した単位を、卒業に必要な英語の単位(8単位)に代えることが可能である。また、外国语技能検定試験、語学研修による単位認定制度もある。詳細は、学生便覧に掲載の教養教育の英語に関する項を参照のこと。

注3：1年次前期開設の「情報活用基礎」を履修すること。なお、「情報活用基礎」の単位を修得出来なかつた場合のみ、後期開設の「情報活用演習」を履修することができる。

注4：「初修物理学」、「初修生物学」の単位を修得すべき者は、保健学科において指定する。ただし、卒業要件単位には含まない。

注5：自由選択科目は、初修外国语、領域科目、健康スポーツ科目の中から合計12単位以上を修得すること。なお、領域科目では、人文科学領域の「倫理学A」及び「倫理学B」並びに社会科学領域の科目的履修が望ましい。

(注) 療養教諭一種免許状を取得しようとする者は、領域科目の「日本国憲法」2単位、及び健康スポーツ科目の「健康スポーツ科学」、「スポーツ実習A」又は「スポーツ実習B」のうちから2単位を履修すること。

別表第1

教養教育科目履修基準表

医学部保健学科理学療法学専攻

区分	科目区分	要修得単位数	授業科目等	単位数	履修区分	履修年次(注1)			
						1年次		2年次	
						前	後	前	後
教養科目	教養ゼミ	2	教養ゼミ	2	必修	○			
	平和科目	2		2	選択必修	○	○		
	パッケージ別科目	6	選択したパッケージから	各2	選択必修	○	○		
	英語(注2)	コミュニケーション基礎	コミュニケーション基礎Ⅰ	1	必修	○			
			コミュニケーション基礎Ⅱ	1			○		
		コミュニケーションⅠ	コミュニケーションⅠA	1	必修	○			
			コミュニケーションⅠB	1		○			
		コミュニケーションⅡ	コミュニケーションⅡA	1	必修		○		
			コミュニケーションⅡB	1			○		
		コミュニケーションⅢ	コミュニケーションⅢA	1	選択必修			○	○
			コミュニケーションⅢB	1				○	○
			コミュニケーションⅢC	1				○	○
教養科目	上記3科目のうちから2科目								
	初修外国語 (トライ語、フランス語、スペイン語、マダガスカル語、中国語、韓国語、アラビア語のうちから1言語選択)	(0)	ベーシック外国語Ⅰから2科目	1	自由選択	○			
			ベーシック外国語Ⅱから2科目	1			○		
	情報科目	(0)	情報活用基礎	2	自由選択	○			
			情報活用演習	2			○		
	領域科目(注3)	2	脳と行動の科学	2	必修	○			
			倫理学A	2	選択必修	○			
		2	倫理学B	2			○		
			現代社会学A	2	選択必修	○			
			現代社会学B	2			○		
	(0)すべての領域から(注4)		1又は2	自由選択	○	○			
教育科目	健康スポーツ科目	(0)		1又は2	自由選択	○	○		
	基礎科目(注4)	4	医療従事者のための心理学	2	必修		○		
			統計学B	2			○		
		4	一般物理学(注5)	2	選択必修	○			
			細胞科学(注6)	2		○			
		0	生物学実験法・同実験	2	選択必修		○		
			初修物理学	2					
			初修生物学	2					
		0	数学基礎概論	2	(注7)				
計	必修・選択必修科目小計	32							
	自由選択科目小計	8	(注8)						
	教養教育科目合計	40							

注1：○印は標準履修セメスターを表している。なお、当該セメスターで単位を修得できなかった場合はこれ以降に履修することも可能である。授業科目により開設期が異なる場合があるので、学生便覧の教養教育開設授業科目一覧で確認すること。

注2：短期語学留学等による「英語圏フィールドリサーチ」又は自学自習による「マルチメディア英語演習」の履修により修得した単位を、卒業に必要な英語の単位(8単位)に代えることが可能である。また、外国語技能検定試験、語学研修による単位認定制度もある。詳細は、学生便覧に掲載の教養教育の英語に関する項を参照のこと。

注3：高等学校で生物を履修していない者は、自然科学領域の「生物の世界」及び複合領域の「科学史A」又は「科学史B」を履修することが望ましい。

注4：履修基準表で指定されていない基礎科目の単位を修得した場合、又は履修基準表で指定された基礎科目の選択必修科目のうち4単位を超えて修得した場合は、2単位まで領域科目を履修したものとみなす。

注5：高等学校で物理を履修していない者は履修することが望ましい。

注6：高等学校で生物を履修していない者は履修することが望ましい。

注7：「初修物理学」、「初修生物学」、「数学基礎概論」の単位を修得すべき者は、保健学科において指定する。ただし、卒業要件単位には含まれない。

注8：自由選択科目は、初修外国語、情報科目、領域科目及び健康スポーツ科目の中から合計8単位以上を修得すること。

別表第1

教養教育科目履修基準表

医学部保健学科作業療法学専攻

区分	科目区分	要修得単位数	授業科目等	単位数	履修区分	履修年次(注1)							
						1年次		2年次		3年次		4年次	
						前	後	前	後	前	後	前	後
教養 科目	教養ゼミ 平和科目 パッケージ別科目	2 2 6	教養ゼミ 選択したパッケージから	2 各2	必修 選択必修 選択必修	○ ○ ○ ○ ○							
	外國語 (注2) 英語 科目	コミュニケーション基礎 コミュニケーションⅠ	コミュニケーション基礎Ⅰ コミュニケーションⅠA コミュニケーションⅠB	1 1 1	必修	○ ○							
			コミュニケーションⅡA コミュニケーションⅡB	1 1		○ ○							
		コミュニケーションⅢ	コミュニケーションⅢA コミュニケーションⅢB コミュニケーションⅢC	1 1 1	必修 選択必修	○ ○ ○							
			上記3科目のうちから2科目			○ ○ ○ ○ ○ ○							
			初修外国語 (ドイツ語、フランス語、スペイン語、シノ語、中国語、韓国語、7ヶ語のうちから1言語選択)	(0)		ベーシック外国語Ⅰ ベーシック外国語Ⅱ	1 1	自由選択	○ ○				
			情報活用基礎 情報活用演習	2 2		○ ○							
	領域科目 (注3)	人文科学領域から2単位 社会科学領域から2単位 複合領域から2単位	人文科学領域から2単位 社会科学領域から2単位 複合領域から2単位	1又は2 1又は2 1又は2	選択必修	○ ○ ○ ○ ○ ○							
			すべての領域から	1又は2		○ ○							
				1又は2		○ ○							
	健康スポーツ科目	(0)											
科目	基礎科目	医療従事者のための心理学 統計学B 生物学実験法・同実験	医療従事者のための心理学 統計学B 生物学実験法・同実験	2 2 2	必修	○ ○ ○							
			細胞科学 生態学	2 2	選択必修	○ ○							
			初修物理学 初修生物学 数学基礎概論	2 2 2		(注4) (注4) (注4)	○ ○ ○						
		必修・選択必修科目小計	32										
		自由選択科目小計	8 (注5)										
		教養教育科目合計	40										

注1：○印は標準履修セメスターを表している。なお、当該セメスターで単位を修得できなかった場合はこれ以降に履修することも可能である。授業科目により実際に開講するセメスターが異なる場合があるので、毎年度発行する教養教育科目授業時間割等で確認すること。

注2：短期語学留学等による「英語圏フィールドリサーチ」又は自学自習による「マルチメディア英語演習」の履修により修得した単位を、卒業に必要な英語の単位(8単位)に代えることが可能である。また、外国語技能検定試験、語学研修による単位認定制度もある。詳細は、学生便覧に掲載の教養教育の英語に関する項を参照のこと。

注3：複合領域からは「脳と行動の科学」を履修することが望ましい。

注4：「初修物理学」、「初修生物学」、「数学基礎概論」の単位を修得すべき者は、保健学科において指定する。ただし、卒業要件単位には含まれない。

注5：自由選択科目は、初修外国語、情報科目、領域科目及び健康スポーツ科目の中から合計8単位以上を修得すること。

専門教育科目履修基準表

別表第2

医学部医学科

区分	科目区分	授業科目	単位数	履修指定	履修年次											
					1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次	
					前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後
専門関連科目	14	医学研究序論	2	必修	2											
		生命・医療倫理学	2			2										
		専門教養・国際協力論	2				2									
		コミュニケーション学	2				2									
		放射線生物学	2					2								
		人類遺伝学	2						2							
		医学英語	2							2						
	専門関連科目計		14		2	4	6			2						
専門教育専門科目	138	人体構造学	14	必修	14											
		組織細胞機能学	10					10								
		生体反応学	9						9							
		病因病態学	6							6						
		器官・システム病態制御学Ⅰ	12							12						
		器官・システム病態制御学Ⅱ	12							12						
		全身性疾患制御学	9							9						
		社会医学	9								9					
		症候診断治療学	9								9					
		臨床実習入門プログラム	4								4					
		医学研究実習	10									10				
		臨床実習・臨床実践学	24										24			
		アドバンスト医学実習	10											10		
	専門科目計		138				33			39		32		34		
専門教育科目計			152													

卒業要件	単位数
教養教育科目	44
専門教育科目	152
専門関連科目	14
専門科目	138
合計	196



別表第2

専門教育科目履修基準表

医学部保健学科看護学専攻

区分	科目区分	授業科目	単位数	履修指定	履修年次							
					1年次		2年次		3年次		4年次	
					前	後	前	後	前	後	前	後
専門基礎科目	人間発達学	2	必修	②								
	人体構造学Ⅰ	1	必修		①							
	人体構造学Ⅱ	1	必修			①						
	生理機能学Ⅰ	1	必修			①						
	生理機能学Ⅱ	1	必修				①					
	微生物学・免疫学	2	必修				②					
	基礎医学演習	2	必修					②				
	栄養学	2	必修					②				
	病理学	2	必修					②				
	臨床薬理学	2	必修					②				
	臨床生化学	2	選択					2				
	臨床病態学	2	選択					2				
	保健英語	1	選択					1				
	成人健康障害看護	2	必修					②				
	老年健康障害看護	2	必修						②			
専門教育	小児健康障害看護	2	必修						②			
	周産期健康障害看護	2	必修						②			
	精神健康障害看護	2	必修							②		
	健康管理論	2	必修					②				
	疫学	2	必修							②		
	社会福祉学	2	必修						②			
	看護実践学原論	2	必修	②								
	看護技術学・基礎演習	2	必修			②						
	看護技術学・応用演習	2	必修				②					
	看護診断方法論演習	1	必修					①				
	看護管理学概論	2	必修							②		
	医療安全と看護倫理	1	必修					①				
	国際健康看護論	1	必修								①	
	基礎看護実習Ⅰ	1	必修	①								
	基礎看護実習Ⅱ	1	必修		①							
	基礎看護実習Ⅲ	2	必修				②					
	総合実習	2	必修								②	
	看護教育学概説	1	選択									1
	がん看護学	1	選択								1	
	家族看護学	1	選択								1	
	カウンセリング演習	1	選択								1	
専門科目	成人看護学概論	2	必修			②						
	成人看護方法演習・慢性期	1	必修							①		
	成人看護方法演習・急性期	2	必修							②		
	老年看護学概論	2	必修			②						
	老年看護方法演習	1	必修							①		
	小児看護学概論	2	必修		②							
	小児看護方法演習	1	必修						①			
	母性看護学概論	2	必修	②								
	母性看護方法演習	1	必修				①					
	精神看護学概論	2	必修			②						
	精神看護方法演習	1	必修					①				
	地域看護学概論	2	必修			②						
	地域看護学Ⅰ	2	必修					②				
	地域看護学Ⅱ	2	必修							②		
	地域看護学演習	1	必修								①	
	地域看護実習	2	必修								②	
	成人看護学実習(急性期)	2	必修							②		
	成人看護学実習(慢性期)	2	必修								②	
	成人看護学実習(回復期・緩和ケア)	2	必修							②		
	老年看護学実習	2	必修							②		
	小児看護学実習	3	必修							③		
	母性看護学実習	2	必修							②		
	精神看護学実習	2	必修							②		
	卒業研究	4	必修								④	
	保健情報学演習	1	選択					1				
	保健政策論	2	選択							2		
	環境生態学演習	1	選択				1					
	公衆衛生看護学Ⅰ	2	選択						2			
	公衆衛生看護学Ⅱ	2	選択						2			

医学部保健学科看護学専攻

区分	科目区分	授業科目	単位数	履修指定	履修年次								
					1年次		2年次		3年次		4年次		
					前	後	前	後	前	後	前	後	
専門教育	専門科目	公衆衛生看護管理	2	選択								2	
		公衆衛生看護実習	3	選択								3	
		助産学概論	2	選択								2	
		母子看護論	2	選択						2			
		助産診断学	4	選択							4		
		助産技術学	2	選択								2	
		助産疾病論	2	選択								2	
		助産方法論	2	選択								2	
		地域母子保健	1	選択								1	
		助産管理学	2	選択								2	
		助産学実習	11	選択								11	
専門基礎科目		開設単位数	必修：16単位	選択：5単位	要履修単位数	必修：16単位							
専門科目		開設単位数	必修：78単位	選択：45単位	要履修単位数	必修：78単位							
専門教育科目計			94										
卒業要件単位数			134										

注1：実習科目的履修は、所定の授業科目の単位を取得していない場合、許可されないことがある。

注2：保健師国家試験を受けようとする者は、専門基礎科目及び専門科目に掲げる必修科目のほか、次の選択科目を全て履修しなければならない。保健情報学演習、保健政策論、環境生態学演習、公衆衛生看護学Ⅰ、公衆衛生看護学Ⅱ、公衆衛生看護管理、公衆衛生看護実習。

注3：助産師国家試験を受けようとする者は、専門基礎科目及び専門科目に掲げる必修科目のほか、次の選択科目を全て履修しなければならない。助産学概論、助産診断学、母子看護論、助産技術学、助産疾病論、助産方法論、地域母子保健、助産管理学、助産学実習。

注4：養護教諭の免許状を取得しようとする者は、課程10「養護教諭免許取得に必要な履修科目（保健学科看護学専攻）」を参照のこと。

保健師国家試験受験資格取得に必要な履修科目（保健学科看護学専攻）

区分	科目区分	授業科目	単位数	履修指定	履修年次							
					1年次		2年次		3年次		4年次	
					前	後	前	後	前	後	前	後
専門教育	専門科目	保健情報学演習	1	選択						1		
		保健政策論	2	選択							2	
		環境生態学演習	1	選択					1			
		公衆衛生看護学Ⅰ	2	選択						2		
		公衆衛生看護学Ⅱ	2	選択						2		
		公衆衛生看護管理	2	選択								2
		公衆衛生看護実習	3	選択								3

注 保健学科看護学専攻学生で、保健師国家試験受験資格を取得しようとする者は、教育課程に掲げた履修基準（教養教育科目、専門教育科目）の必修科目を含めて、上記科目を必ず履修しなければならない。

助産師国家試験受験資格取得に必要な履修科目（保健学科看護学専攻）

区分	科目区分	授業科目	単位数	履修指定	履修年次							
					1年次		2年次		3年次		4年次	
					前	後	前	後	前	後	前	後
専門教育	専門科目	助産学概論	2	選択							2	
		母子看護論	2	選択						2		
		助産診断学	4	選択							4	
		助産技術学	2	選択							2	
		助産疾病論	2	選択							2	
		助産方法論	2	選択							2	
		地域母子保健	1	選択							1	
		助産管理学	2	選択							2	
		助産学実習	11	選択								11

注 保健学科看護学専攻学生で、助産師国家試験受験資格を取得しようとする者は、教育課程に掲げた履修基準（教養教育科目、専門教育科目）の必修科目を含めて、上記科目を必ず履修しなければならない。

別表第2

専門教育科目履修基準表

医学部保健学科理学療法学専攻

○数字は必修科目

区分 科目区分	要修得 単位数	授業科目	単位数	履修指定	履修年次								
					1年次		2年次		3年次		4年次		
					前	後	前	後	前	後	前	後	
専門基礎科目	30	人体構造学Ⅰ	2	必修		②							
		人体構造学Ⅱ	2	必修			②						
		人体構造学実習Ⅰ	1	必修			①						
		人体構造学実習Ⅱ	1	必修			①						
		生理機能学Ⅰ	1	必修			①						
		生理機能学Ⅱ	1	必修			①						
		生理機能学特論	1	必修			①						
		生理機能学実習	1	必修			①						
		病理学	2	必修			②						
		リハビリテーション概論	2	必修		②							
		リハビリテーション内科学Ⅰ	1	必修			①						
		リハビリテーション内科学Ⅱ	1	必修				①					
		外科系障害学	2	必修				②					
		リハビリテーション整形外科学総論	1	必修			①						
		リハビリテーション整形外科学各論	1	必修				①					
		リハビリテーション神経内科学	2	必修			②						
		人間発達学	1	必修	①								
		リハビリテーション精神医学総論	2	必修			②						
		リハビリテーション精神医学各論	2	必修				②					
		発達障害学	1	必修			①						
		老年期障害学	1	必修				①					
		応用統計学	1	必修					①				
		保健英語	1	選択					1				
専門教育	専門科目	理学療法概論	2	必修	②								
		基礎理学療法学	1	必修			①						
		身体運動学	1	必修			①						
		身体運動学実習	1	必修				①					
		臨床運動学	1	必修					①				
		臨床運動学演習	1	必修						①			
		機能能力診断学	1	必修					①				
		機能能力診断学特論	2	選択			2						
		機能能力診断学実習	1	必修					①				
		小児機能診断学総論	1	必修					①				
		小児機能診断学各論	1	必修					①				
		リハビリテーション診断学	1	必修					①				
		運動系理学療法学	2	必修			②						
		運動系理学療法学実習	1	必修					①				
		小児神経系理学療法学	1	必修					①				
		成人神経系理学療法学	1	必修					①				
		小児神経系理学療法学演習	1	必修						①			
		成人神経系理学療法学演習	1	必修						①			
		内部障害リハビリテーション学	1	必修						①			
		内部障害リハビリテーション学実習	1	必修							①		
		物理療法学	1	必修					①				
		物理療法学実習	1	必修						①			
		補装具学	1	必修						①			
		補装具学演習	1	必修							①		
		生活技術学	1	必修						①			
		生活技術学実習	1	必修							①		
専門科目	59	スポーツ医学総論	1	必修						①			
		スポーツ医学各論	1	必修						①			
		スポーツ外傷理学療法学総論	1	必修						①			
		スポーツ外傷理学療法学各論	1	必修						①			
		スポーツ外傷理学療法学実習	1	必修							①		
		理学療法研究法	2	必修						②			
		栄養学	1	選択			1						
		コンディショニング科学	1	選択						1			
		トレーニング科学	1	選択						1			
		地域地理学療法学	1	選択						1			
		社会福祉学	1	選択						1			
		生活環境制御学	2	必修			②						
		生活環境制御学実習	1	必修					①				
		臨床見学実習	1	必修						③			
		臨床実習	3	必修							④		
		総合臨床実習	14	必修							⑭		
		卒業研究	4	必修								④	
専門基礎科目			開設単位数 必修: 30単位 選択: 1単位		要履修単位数 必修: 30単位		専門科目		開設単位数 必修: 59単位 選択: 7単位		要履修単位数 必修: 59単位		
			専門教育科目計		89		卒業要件単位数		129				

注1: 「臨床実習」の履修は、「機能能力診断学」及び「機能能力診断学実習」の単位を取得していることを条件とする。

注2: 実習及び演習科目の履修は、履修条件を満たしていない場合、許可されないことがある。

注3: 「総合臨床実習」の履修は、全ての専門基礎科目及び専門科目の単位を修得していることを条件とする。

注4: 編入学生には、注3を適用しない。

別表第2

専門教育科目履修基準表

医学部保健学科作業療法学専攻

○数字は必修科目

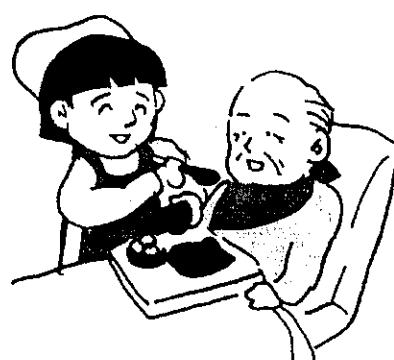
区分	科目区分	要修得単位数	授業科目	単位数	履修指定	履修年次									
						1年次		2年次		3年次		4年次			
						前	後	前	後	前	後	前	後		
専門基礎科目	26	26	人体構造学Ⅰ	1	必修	①									
			人体構造学Ⅱ	1	必修		①								
			人体構造学特論	1	必修		①								
			人体構造学実習Ⅰ	1	必修		①								
			人体構造学実習Ⅱ	1	必修		①								
			生理機能学Ⅰ	1	必修	①									
			生理機能学Ⅱ	1	必修		①								
			生理機能学特論	1	必修		①								
			生理機能学実習	1	必修		①								
			運動学Ⅰ	1	必修	①									
			運動学Ⅱ	1	必修		①								
			運動学実習	1	必修		①								
			人間発達学	1	必修	①									
			生理学的心理学	1	選択							1			
			病理学	2	必修	②									
			リハビリテーション内科学Ⅰ	1	必修		①								
			リハビリテーション内科学Ⅱ	1	選択			1							
			内部障害リハビリテーション学	1	選択				1						
			リハビリテーション整形外科学総論	1	必修	①									
			リハビリテーション整形外科学各論	1	必修		①								
			リハビリテーション神経内科学Ⅰ	1	必修		①								
			リハビリテーション神経内科学Ⅱ	1	必修		①								
			リハビリテーション精神医学総論	1	必修		①								
			リハビリテーション精神医学各論	1	必修			①							
			精神障害学特論	1	必修			①							
			発達障害リハビリテーション学	1	必修		①								
			老年期障害学	1	選択				1						
			救急法及び感染予防	1	選択					1					
			リハビリテーション概論	1	必修	①									
			保健政策論	1	選択							1			
			社会福祉学	1	必修		①								
			保健英語	1	選択			1							
			応用統計学	1	選択					1					
専門教育科目	88	88	作業療法学概論	2	必修	②									
			職業倫理・職場管理学	1	必修							①			
			臨床学入門	1	必修	①									
			作業技術学演習	2	必修		②								
			作業技術学実習	1	必修			①							
			評価とコミュニケーション	2	必修		②								
			作業応用学総論	2	必修		②								
			日常生活活動学演習	1	必修				①						
			日常生活活動学実習	1	必修					①					
			余暇関連活動学演習	1	必修					①					
			仕事関連活動学演習	1	必修					①					
			地域生活学	1	必修					①					
			身体障害作業療法学演習Ⅰ(評価法演習)	1	必修				①						
			身体障害作業療法学実習Ⅰ(評価法実習)	1	必修				①						
			身体障害作業療法学演習Ⅱ(治療法演習)	1	必修					①					
			身体障害作業療法学実習Ⅱ(治療法実習)	1	必修					①					
			身体障害作業療法学実習Ⅲ(上肢機能介入法実習)	1	必修					①					
			老年期障害作業療法学	1	必修					①					
			老年期障害作業療法学演習	1	必修					①					
			高次脳機能障害作業療法学	1	必修				①						
			高次脳機能障害作業療法学演習	1	必修					①					
			精神障害作業療法学	2	必修				②						
			精神障害作業療法学演習Ⅰ	1	必修					①					
			精神障害作業療法学演習Ⅱ	1	必修					①					
			発達障害作業療法学	1	必修				①						
			発達障害作業療法学演習Ⅰ	1	必修				①						
			発達障害作業療法学演習Ⅱ	1	必修					①					
			作業療法学研究法	2	必修					②					
			卒業研究	4	必修						④				
			基礎臨床実習Ⅰ	2	必修				②						
			基礎臨床実習Ⅱ	2	必修					②					
			基礎臨床実習Ⅲ	2	必修					②					
			総合臨床実習Ⅰ	9	必修						⑨				
			総合臨床実習Ⅱ	9	必修						⑨				
専門基礎科目				開設単位数 必修: 26単位 選択: 8単位		要履修単位数 必修: 26単位		専門科目		開設単位数 必修: 62単位		要履修単位数 必修: 62単位			
専門教育科目計						88		卒業要件単位数		128					

注 実習および演習科目の履修は、所定の授業科目の単位を取得していない場合、許可されないことがある。(シラバス参照)

養護教諭一種免許取得に必要な履修科目（保健学科看護学専攻）

科目区分	授業科目	単位数	必要単位数	履修セメスター	開講キャンパス
教養教育科目	外国語科目(英語)	コミュニケーションⅡA コミュニケーションⅡB	1 1	2セメ	東広島
	情報科目	情報活用基礎 (又は情報活用演習)	2	1セメ (2セメ)	
	領域科目	日本国憲法	2	1又は2セメ	東広島又は東千田(後期)
	健康スポーツ科目		2	1又は2セメ	東広島
専門教育科目	教職に関する専門科目	教職入門	2	2	奇数年は霞、偶数年は東千田 奇数年は霞、偶数年は東千田 奇数年は東千田、偶数年は霞 奇数年は東千田、偶数年は霞 奇数年は東千田、偶数年は霞 奇数年は霞、偶数年は東千田 奇数年に霞で開講 偶数年に東千田で開講 奇数年は霞、偶数年は東千田 奇数年は東千田、偶数年は霞
		教育の思想と原理	2	2	
		児童・青年期発達論	2	2	
		教育と社会・制度	2	2	
		教育課程論	2	2	
		教育方法・技術論	2	2	
		道徳教育指導法	2	2	
		特別活動指導法	2	2	
		生徒・進路指導論	2	2	
		教育相談	2	2	
	専門基礎科目	養護実習	5	5	7・8セメ
		教職実践演習(注)	2	2	8セメ
		臨床薬理学	2	2	霞(医学部)で開講
		微生物学・免疫学	2	2	霞(医学部)で開講
	専門科目	公衆衛生看護学Ⅱ	2	2	霞(医学部)で開講
	その他の教職科目	学校保健演習	2	2	霞(医学部)で開講

- 保健学科看護学専攻学生で、養護教諭一種免許単位を取得しようとする者は、教育課程に掲げた履修基準(教養教育科目、専門教育科目)の必修科目を含めて、上記科目を必ず履修しなければならない。
 - 「教職に関する科目」については、霞キャンパスでは医学部保健学科生用の昼間集中講義で開講し、東千田キャンパスでは法学部及び経済学部夜間主コース生用の夜間集中講義で開講する。
- (注) 教職実践演習(養護教諭)(8セメスター集中授業)を履修するためには、7セメスターに養護実習の履修手続を済ませ、教職実践演習の開始までに養護実習の単位を修得又は修得見込みであること。
 7セメスター終了時点で養護実習の単位が修得できておらず、8セメスターで教職実践演習と並行して養護実習を履修することとなった場合、教職実践演習の単位は、養護実習の単位が認定されることを条件として認定する。



＜医学科進級判定基準＞

＜平成 25 年 3 月 19 日 医学科会議承認＞

医学科の学生が、各年次に進級するときは下記の基準を基に判定します。

1. 教養コア科目（教養ゼミを除く）、領域科目、健康スポーツ科目の 14 単位のうちの 1 科目 2 単位、英語科目（コミュニケーション I, II, コミュニケーション基礎）6 単位のうちの 1 単位または初修外国語 4 単位のうちの 1 単位については、計 3 単位までの未履修者は、2 年次の授業科目の履修を認める。
2. 上記 1 以外の単位未履修者は、未修得単位を修得した年の翌年度から、2 年次の授業科目の履修を認める。
3. 上記 1 および 2 で履修を認められた者は、霞キャンパスでの 2 年次の授業科目の履修と並行して、東広島キャンパス又は東千田キャンパスで行われる授業科目を履修し、2 年次終了時までに未修得単位を修得するものとする。
4. 2 年次以降は、各学年で履修すべきすべての授業科目の単位を修得していることを進級の要件とする。
5. 2 年次以降の専門教育科目の単位認定は、原則としてその科目で行われるすべての試験に合格していることを要件とし、開講年度内に成績を確定する。
6. 履修基準表の授業科目が変更または閉講された場合の履修科目は、医学科の教授会（医学科会議）で協議し、決定する。
7. この基準は平成 25 年度入学生から適用する。



○領域科目・基盤科目の特別試験について

平成23年6月21日
教養教育本部長決裁

1 趣旨

学年進行により修学場所が東広島キャンパスから霞キャンパスに移る医学部、歯学部及び薬学部の学生の負担を軽減するため、1・2セメスターに東広島キャンパスで履修する教養教育科目(領域科目及び基盤科目で、授業の方法が講義のものに限る。)のうち必修指定のものについて、1回に限り、再履修の特例として特別試験を行う。

2 対象者・受験資格

特別試験の対象者は、次に掲げる学部・学科に所属する学生で当該学部が指定するもののうち、それぞれに示す必修指定科目の試験を受けた結果、単位を修得できなかった科目が2セメスター終了時点で2科目以内のものとする。

(1) 医学部医学科

初修物理学（基）、初修化学（基）、初修生物学（基）、細胞科学（基）、
医療従事者のための心理学（基）

(2) 医学部保健学科看護学専攻

脳と行動の科学（領）、細胞科学（基）

(3) 医学部保健学科理学療法学専攻

脳と行動の科学（領）、統計学B（基）、医療従事者のための心理学（基）

(4) 医学部保健学科作業療法学専攻

統計学B（基）、医療従事者のための心理学（基）

(5) 歯学部歯学科

全身の健康と口腔科学（領）、一般物理学（基）、初修化学（基）、一般化学（基）、
有機化学（基）、初修生物学（基）、細胞科学（基）

(6) 歯学部口腔健康科学科口腔保健学専攻

全身の健康と口腔科学（領）、一般物理学（基）、初修化学（基）、初修生物学
(基)、医療従事者のための心理学（基）

(7) 歯学部口腔健康科学科口腔工学専攻

全身の健康と口腔科学（領）、微分積分通論（基）、線形代数通論（基）、基礎微分
積分学（基）、基礎線形代数学（基）、初修化学（基）、初修生物学（基）

(8) 薬学部薬学科

脳と行動の科学（領）、心と行動の科学（領）、初修物理学（基）、初修化学（基）、
初修生物学（基）、統計学B（基）、医療従事者のための心理学（基）

(9) 薬学部薬科学科

脳と行動の科学（領）、初修物理学（基）、初修化学（基）、初修生物学（基），
統計学B（基）

3 実施時期・成績評価

- (1) 実施時期は、2セメスターの3月とする。
- (2) 特別試験による成績の評価は、「可」又は「不可」とする。

4 その他

上記で対応できない事案については、その都度教養教育本部が決定する。

5 適用

この取扱いは、平成26年度入学生から適用する。

(注)(平成25年3月12日 一部改正)

この改正は、平成25年4月1日から適用する。

(注)(平成26年2月18日 一部改正)

この改正は、平成26年4月1日から適用する。

医学部生の東千田キャンパス開設授業科目の受講について

対象学部・学科		夜間授業時間帯に開設する授業科目		昼間授業時間帯に開設する授業科目	備考
		外国語科目	外国語科目以外の教養教育科目		
医学部	全学科 1年次生	不可	不可	可	
	全学科 2年次生以上	可	可	可	
	保健学科 編入学生	可	可	可	

※平成18年度入学生から適用

(注1) 「可」は、当該科目を受講できることを示しています。

(注2) 転学部生については、2年次生と同じ扱いとします。



広島大学既修得単位等の認定に関する細則の 広島大学医学部における取扱いについて

(平成 5.4.22)
教授会承認

改正 平成 6.5.26, 平成 9.5.8, 平成 18.3.20, 平成 23.3.

1. 広島大学医学部における医学科及び保健学科に係る既修得単位等の認定に関しては、広島大学既修得単位等の認定に関する細則に定めるものほか、この取扱いの定めるところによる。

2. 認定できる科目及び単位数は、次のとおりとする。

医学科

(1) 共通科目

外国語科目	6 単位以内
英語	4 単位以内
ドイツ語又はフランス語	2 単位以内

情報科目 2 単位以内

(2) 共通科目及び基盤科目

領域科目、健康スポーツ科目及び基盤科目 10 単位以内

保健学科

(1) 共通科目

外国語科目	8 単位以内
英語	4 単位以内
ドイツ語、フランス語、スペイン語、ロシア語、 中国語、韓国語、アラビア語の中から 1 か国語	4 単位以内

情報科目 2 単位以内

(2) 共通科目及び基盤科目

領域科目及び基盤科目 8 単位以内
健康スポーツ科目 2 単位以内

3. 「2」により認定を受けた者は、原則としてその単位に相当する他の授業科目を履修することが望ましい。

4. この取扱いに定めるものほか、既修得単位等の認定に関し必要な事項は、教授会が別に定める。

5. この取扱いは、平成 23 年度入学生から適用する。

外国語技能検定試験等による単位認定の取扱いについて

認定の対象となる外国語技能検定試験等及び単位認定の申請方法等は、
「教養教育について」の教養40ページを参照してください。

外国の大学等で履修した授業科目の単位の認定に関する申合せ

平成18.4.1 制定

(趣旨)

第1 この申合せは、広島大学医学部（以下「学部」という。）に在学中の学生が外国の大学又は短期大学（大学以外の高等教育機関を含む。以下「外国の大学等」という。）に留学した場合の単位の認定に関し、必要な事項を定めるものとする。

(留学の願い出)

第2 単位の認定を受けようとする者は、あらかじめチューターと相談の上、留学願に外国の大学等における留学申請書（別記様式第1）を添えて学部長に願い出なければならない。
2 学部長は、前項の規定による願い出があったときは、教授会の議を経て、承認するものとする。

(単位の認定の願い出)

第3 単位の認定を受けようとする者は、評価依頼状（別記様式第2）に評価表（別記様式第3）を添えて、外国の大学等に対し評価を依頼するものとする。
2 単位の認定を受けようとする者は、帰国後1月以内に、外国の大学等における留学単位認定願（別記様式第4）に評価表（別記様式第3）を添えて、学部長に願い出るものとする。

(単位の認定)

第4 学部長は、前条の規定による願い出があったときは、教授会の議を経て、単位の認定を行うものとする。
2 学部長は、前項の審査の結果について、単位の認定を行ったときは単位等認定通知書（別記様式第5）により、認定を行わなかったときは適宜の方法により、速やかに願い出た者に通知するものとする。
3 認定できる単位数は、60単位を超えない範囲とする。

(研修の総時間数)

第5 学部長は、外国の大学等で履修した授業科目の単位の認定を行ったときは、チューターに対して、認定した単位に代えて他の選択科目等の履修を行わせるなどの適切な指導を行わせるものとする。

附 則

この申合せは、平成18年4月1日から施行する。

別記様式第4（第3第2項関係）

別冊新千葉1(第2回後)

平成 年月日 別記様式第1(第2關係)

外国の大学等における留学単位認定願

長岡大学医学部

学号番号

四

外国の大学等における留学について、下記のとおり単位を認定して下さるようお願いします。

書類申請における留学生の大学等

广雅注疏

学 生 采 号

卷之六

私こそ、外国の大学等に留学し、修了後単位認定を受けたいので、ご承認ください。問合せ書類を添えて申請します。

記

留学した国名・都市名					
留学した大学等名					
授業科目名等					
担当教員名					
授業内容 :					
期 間 :	年	月	日から	年	月 日まで
授業時間数 :	時間×		日	合計:	時間
出席状況 :					
特記事項 :					
総合評価 :	秀	優	良	可	不可
本学での認定授業科目名				単位数	評価

卷之三

十二、本國の大學生として實業の研究に於ける其の貢献。

チユーターハ名（自署に限る）

単位等認定通知書

学生番号
氏名

Date:

To Whom It May Concern,

In order to make it more effective for students to learn classes in the foreign countries, Hiroshima University was introduced a system of transferring credits with other universities and educational institutions.

We would be very grateful if you would evaluate the performance of the student who is the bearer of this letter.

Would you please be so kind as to complete the necessary items on the formal Evaluation sheet, issued by Hiroshima University, place it in the envelope provided, seal the envelope, and hand it back to the student.

Many thanks in advance for your cooperation.

With best wishes,

Dean, Faculty of Medicine
Hiroshima University

広島大学通則第29条の第3項の規定に基づき、下記のとおり広島大学において修得したるものとして単位を認定する。

平成 年 月 日

広島大学医学部長

認定する授業科目及び単位数				認定の基礎となつた授業科目名			
区分	授業科目	単位	評価	授業科目名等	修得単位数等	評価	

留学した外国の大学等名、学修した講習名等

備考

Evaluation Form

Name of Student : _____

Date of Birth : _____

Student No. of Your School : _____

Student No. of Hiroshima University : _____

Course Title:			
Semester / Quarter, Year:			
Credit(s):			
Period : From _____ / _____ 200 to _____ / _____ 200			
Total Hours: _____ Hours X _____ days	Total	_____ hours	
Attendance:			
General Observation if need to add:			
Grade: <input type="checkbox"/> excellent <input type="checkbox"/> very good <input type="checkbox"/> good <input type="checkbox"/> passable <input type="checkbox"/> insufficient <input type="checkbox"/> credit <input type="checkbox"/> Non credit			

Address:

Name of Institution: _____

Name of Instructor: _____

Date _____ Signature _____